

日本船舶海洋工学会関西支部研究運営委員会とKシニアの共催
シンポジウム

『船型開発のあけぼの』 ーバルバスバウを中心にしてー

1961年3月16日、明石海峡岩屋沖において、大型船首バルブを付けた「くれない丸」とその姉妹船「むらさき丸」並走によるバルバスバウ（球状船首）実証実験が実施され、1962年、この結果を乾先生がSNAMEに発表、一大センセーションを巻き起こしました。そして、その後10年以内に全世界に球状船首が普及したのは周知の事実です。本シンポジウムでは、次世代に技術者の精神を伝承することを目的に、造波抵抗をキーワードとして当時の船型開発に携わった方々を講演者に招き、どのような発想から新しいものが生み出されるのか、新しいものを実現するまでの苦勞、技術者としてのやりがいなどについて、次世代を担う若い技術者を対象として熱く語っていただきます。また、「くれない丸」による球状船首実船実験の資料、それに前後して行われた「波なし船型」に関する模型試験関連資料他が多数展示されている神戸大学海事博物館を見学します。<http://www.jasnaoe.or.jp/k-senior/hozon-katudou/2010/100817-No2-tenji.html>

主催：日本船舶海洋工学会関西支部研究運営委員会とKシニア

日時：2010年11月5日（金）14：00－17：25

場所：神戸大学深江キャンパス総合学術交流棟カンファレンスホール
神戸市 東灘区 深江南町 5-1-1

プログラム：

- | | | |
|-------------|------------------------------------------------------|-------------------|
| 14：00－14：05 | 開会の挨拶 | 実行委員長・大阪府立大学 馬場信弘 |
| 14：05－14：55 | 「波なし船型の研究と“くれない丸”における大型球状船首の実船試験」
ー 展示企画からみえるもの ー | 元三菱重工業・Kシニア 藤村 洋 |
| 14：55－15：40 | 神戸大学海事博物館見学・休憩 | |
| 15：40－16：30 | くれない丸 球状船首実船試験の思い出 ー 船型開発初期の回顧 ー | 元関西汽船・Kシニア 塙 友雄 |
| 16：30－17：20 | 造船発展期の船型共同開発 | 元川崎重工業・Kシニア 岡本 洋 |
| 17：20－17：25 | 閉会の挨拶 | Kシニア会長 小林幹弘 |
| 17：25－19：00 | 懇親会（会場：総合学術交流棟ロビー、参加費：一般2000円、学生1000円） | |

参加費：無料（懇親会のみ有料）※当日、会場受付にてお支払いください。

申込方法：以下の情報を下記申込先にお送り下さい。締切りは**2010年10月28日(木)**とさせていただきます。

①所属、②氏名、③懇親会の参加・不参加、④電話番号またはメールアドレス

申込先：〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪府立大学大学院工学研究科海洋システム工学分野 坪郷 尚

FAX：072-254-9914

E-mail：tsubogo@marine.osakafu-u.ac.jp